

第36回（2012年度） 電顕試料作製・観察実技講習会のご案内
 主催 公益法人日本顕微鏡学会関東支部

公益法人日本顕微鏡学会関東支部では、電子顕微鏡または光学顕微鏡を扱う初級～中級の研究者及び技術者の技術向上を目的とし、数名のグループ単位で、試料作製・観察実技の講習会を実施してまいりました。昨年度は本学会の公益法人化移行手続きの諸事情により中断いたしました。本年度から新たな体制で講習会を実施する運びとなりました。本年度は9コース（表1）を用意しました。講習内容、講習場所、申込み締切日、問合せ先等の詳細は後述の各コースの記載をご覧ください。

表1 講習コース一覧

	講習コース（場所・実施機関・責任者）	コースのタイトル	実施時期	講習料と期間
1	医学生物学・超薄切片法（埼玉県・埼玉医科大学・穂田真澄）	医学生物学・超薄切片法	直接相談による	4万円 （3日間）
2	医学生物学・走査電顕試料作製法（埼玉県・埼玉医科大学・穂田真澄）	医学生物学・走査電顕試料作製法	直接相談による	4万円 （3日間）
3	蛍光顕微鏡および共焦点レーザー顕微鏡観察法（埼玉県・埼玉医科大学・穂田真澄）	蛍光顕微鏡および共焦点レーザー顕微鏡観察法（医・生物）	直接相談による	4万円 （3日間）
4	高分子材料の電顕試料作製法（茨城県・産総研・堀内伸）	透過電顕による高分子材料のモルロジー解析	2012年12月4日（火）～6日（木）	5万円 （3日間）
5	医学生物学・超薄切片法（神奈川県・北里大学・勝又修、玉木英明）	通常生物試料作製及び包埋前・包埋後免疫電顕法	2012年12月の第2週～第3週	6万円 （5日間）
6	医学生物学・光顕切片法（山梨県・山梨大学・大野伸一）	簡便な凍結技法－凍結置換固定による免疫組織化学法	2012年12月25日（火）～26日（水）	3万円 （2日間）
7	医学生物学・ネガティブ染色法（千葉市・千葉大学・山口正視）	ネガティブ染色法	2013年1月18日（金）	3万円 （1日）

8	医学生物学・急速凍結置換固定法（千葉市・千葉大学・山口正視）	微生物の急速凍結置換固定法	2013年1月24日（木）～25日（金）	4万円（2日間）
9	医学生物学・連続超薄切片法（千葉市・千葉大学・山口正視）	微生物の連続超薄切片法	2013年1月31日（木）～2月1日（金）	5万円（2日間）

受講をご希望の方は、下記項目をご記入の上、下記日本顕微鏡学会・実技講習会申込み先アドレスにメールでお申し込みください。

(1) 氏名、(2) 所属、(3) 希望コース番号・コースタイトル、(4) 連絡先（メールアドレス、電話番号、Fax 番号）、(5) 実施時期欄に“直接相談”とある場合は希望の日程、(6) 受講内容に関する経験年数など参考となる情報など。

日本顕微鏡学会・実技講習会申込み先アドレス：jsm-post@bunken.co.jp

・学生、非会員の講習料について

講習料は日本顕微鏡学会会員の場合です。受講者が学生の場合は、記載の金額から一律1万円割引します。非会員の場合は、一律1万円割増します。受講日までに入会の場合は会員扱いとします。

各講習の詳細：1) コース名、2) 講習項目、3) 講習時期、4) 講習場所、5) 受け入れ人数、6) 講習料、7) 問合せ先、8) 申込み締切日

1. 医学生物学・超薄切片法（埼玉県・埼玉医科大学・穐田真澄）

- 1) 医学生物学・超薄切片法
- 2) ①透過電子顕微鏡観察の試料作製、②免疫電顕法、③観察
- 3) 直接相談（3日間）
- 4) 埼玉医科大学
- 5) 2-3名
- 6) 4万円
- 7) 穐田真澄、〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町 38、埼玉医科大学、TEL 049-276-2103、FAX 049-276-2490 E-mail : makita@saitama-med.ac.jp
- 8) 特に設けない

2. 医学生物学・走査電顕試料作製法（埼玉県・埼玉医科大学・穐田真澄）

- 1) 医学生物学・走査電顕試料作製法
- 2) ①走査電子顕微鏡観察の試料作成、②観察、③元素分析
- 3) 直接相談（3日間）
- 4) 埼玉医科大学
- 5) 2-3名
- 6) 4万円
- 7) 穐田真澄、〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町38、埼玉医科大学、TEL 049-276-2103、FAX 049-276-2490 E-mail : makita@saitama-med.ac.jp
- 8) 特に設けない

3. 蛍光顕微鏡および共焦点レーザー顕微鏡観察法（埼玉県・埼玉医科大学・穐田真澄）

- 1) 蛍光顕微鏡および共焦点レーザー顕微鏡観察法（医・生物）
- 2) ①細胞培養、②免疫染色、③観察
- 3) 直接相談（3日間）
- 4) 埼玉医科大学
- 5) 2-3名
- 6) 4万円
- 7) 穐田真澄、〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町38、埼玉医科大学、TEL 049-276-2103、FAX 049-276-2490 E-mail : makita@saitama-med.ac.jp
- 8) 特に設けない

4. 高分子材料の電顕試料作製法（茨城県・産総研・堀内伸）
 - 1) 透過型電子顕微鏡による高分子材料のモルホロジー解析
 - 2) ①ウルトラミクロトームによる TEM 観察用超薄切片の作製、②四酸化ルテニウムによる染色、③TEM による染色試料の観察、④エネルギーフィルターTEM による無染色試料の観察、および EELS, 元素マッピングによる解析
 - 3) 2012 年 12 月 4 日（火）～6 日（木）（3 日間）
 - 4) 産業技術総合研究所ナノシステム研究部門
 - 5) 5 名
 - 6) 5 万円
 - 7) 堀内伸、〒350-8565 茨城県つくば市東 1-1-1、独立行政法人産業技術総合研究所・ナノシステム研究部門、TEL 029-861-6281、FAX 029-861-4437
E-mail: s.horiuchi@aist.go.jp
 - 8) 2012 年 11 月 18 日

5. 医学生物学・超薄切片法（神奈川県・北里大学・勝又 修、玉木英明）
 - 1) 通常生物試料作製及び包埋前・包埋後免疫電顕法
 - 2) ①固定：マウス灌流固定又は浸漬固定、②包埋：クエトール包埋又は LRW 包埋、③薄切：厚切り・超薄切片作製、凍結切片作製含む、④免疫染色：包埋後又は包埋前染色、⑤観察：撮影の基礎、⑥印画焼き付け又はデジタル処理
 - 3) 2012 年 12 月の第 2 週～第 3 週（5 日間）
 - 4) 北里大学医学部解剖学教室及びバイオイメージングセンター画像部門
 - 5) 4 名まで
 - 6) 6 万円
 - 7) 勝又 修、〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1、北里大学医学部形態系解剖学教室（細胞生物研究室）TEL 042-778-9021 FAX 042-778-9021、
E-mail : ok@med.kitasato-u.ac.jp
 - 8) 特に設けない

6. 医学生物学・光顕切片法（山梨県・山梨大学・大野伸一）
 - 1) 簡便な凍結技法—凍結置換固定による免疫組織化学法
 - 2) ①液性イソペンタン・プロパン（IP）混合寒剤の作製法、②新鮮切除マウス臓器の浸漬凍結技法、③液性 IP 混合寒剤による生体内凍結とクライオ生検法、④凍結試料の 2%パラフィルムアルデヒド・アセトン中での凍結置換固定法、⑤凍結置換固定組織からクライオスタット切片作製と免疫染色法。以

上、凍結試料での免疫染色標本作製を行う。

- 3) 2012年12月25日(火)～26日(水)(2日間)
- 4) 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 解剖分子組織学教室
- 5) 5名
- 6) 3万円
- 7) 大野伸一、〒409-3898、山梨県中央市下河東1110、山梨大学大学院医学工学総合研究部解剖分子組織学教室、Tel&Fax:055-273-6743、E-mail:
sohno@yamanashi.ac.jp
- 8) 2012年11月30日

7. 医学生物学・ネガティブ染色法(千葉市・千葉大学・山口正視)

- 1) ネガティブ染色法
- 2) ①支持膜の準備、②ウイルスのネガティブ染色実習、③撮影
- 3) 2013年1月18日(金)(1日)
- 4) 千葉大学・真菌医学研究センター
- 5) 4名まで
- 6) 3万円
- 7) 山口正視、〒260-8673 千葉市中央区亥鼻1-8-1、千葉大学・真菌医学研究センター、TEL:043-226-2796、FAX:043-226-2486、
E-mail: yama@faculty.chiba-u.jp
- 8) 2012年12月27日

8. 医学生物学・急速凍結置換固定法(千葉市・千葉大学・山口正視)

- 1) 微生物の急速凍結置換固定法
- 2) ①試料、固定液、銅板、冷媒の準備、②試料の急速凍結実習、③包埋ブロックのトリミング、超薄切片の作製、④電子染色、支持膜はりつけ、撮影
- 3) 2013年1月24日(木)～25日(金)(2日)
- 4) 千葉大学・真菌医学研究センター
- 5) 4名まで
- 6) 4万円
- 7) 山口正視、〒260-8673 千葉市中央区亥鼻1-8-1、千葉大学・真菌医学研究センター、TEL:043-226-2796、FAX:043-226-2486、
E-mail: yama@faculty.chiba-u.jp
- 8) 2012年12月27日

9. 医学生物学・連続超薄切片法（千葉県・千葉大学・山口正視）
- 1) 微生物の連続超薄切片法
 - 2) ①支持膜作製、②包埋ブロックのトリミング、面出し、再トリミング、③面あわせ、連続超薄切片作製、④切片の拾い方、⑤電子染色、撮影
 - 3) 2013年1月31日(木)～2月1日(金)（2日）
 - 4) 千葉大学・真菌医学研究センター
 - 5) 2名まで
 - 6) 5万円
 - 7) 山口正視、〒260-8673 千葉市中央区亥鼻 1-8-1、千葉大学・真菌医学研究センター、TEL:043-226-2796、FAX:043-226-2486、E-mail : yama@faculty.chiba-u.jp
 - 8) 2012年12月27日